

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
公衆衛生学Ⅱ	2年次	必修	講義	1単位（30時間）	木村 幸一郎
授 業 概 要					
地球環境、健康の保持、国際連携、予防医学の重要性を認識し、公衆衛生分野の検査などについて学習する。					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・衛生学、公衆衛生学の変貌と地球環境・人口の変貌を理解し、公害問題から自然・生活環境問題へと変化している中で、「健康とは何か、いかに対処すべきか」を解決する知識を理解し、説明できる。 ・時代の流れを汲みとって、その時の社会の問題点を正しく理解し、説明できる。 					
実務経験のある教員					
星野 ちなみ：病院での臨床経験を踏まえ、臨床検査技師法、死体解剖、臓器移植について概説する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1	地域保健（保健所・市町村保健センター・地域包括ケアシステム）				木村 幸一郎
2	母子保健（妊娠の成立・母子保健の統計）				
3	母子保健（母体保護法・児童福祉法）				
4	学校保健（学校保健管理・健康診断）				
5	産業保健（産業保健の意義・労働基準法）				
6	産業保健（労働安全衛生法・職業性疾病）				
7	産業保健（産業中毒）				
8	高齢者保健（介護保険法・地域包括支援センター・在宅医療）				
9	精神保健（精神保健統計・社会復帰）				
10	国際保健（国際協力・国際機関）				
11	衛生行政（医療計画・チーム医療）				
12	衛生行政（社会保障・社会福祉）				
13	関係法規（保健師助産師看護師法・臨床工学技士法）				
14	関係法規（医療法・医師法・医薬品医療機器等法）				
15	関係法規（臨床検査技師法・死体解剖保存法・臓器移植法）				
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・公衆衛生学は幅広い領域にわたるため、学んだことを関連付け、しっかりと復習して理解すること。 ・不明な点は必ずその場で解決すること。 					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・月曜試験を実施する。 ・遅刻や欠席等で月曜試験を受験しなかった場合は0点とするが、正当な理由がある場合は追試験を実施する。 ・定期試験（70%）及び月曜試験（30%）により評価する。 ・再試験は月曜試験の内容を合わせて出題し、これを評価する。 					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
[教科書] 公衆衛生がみえる 医療情報科学研究所 MEDIC MEDIA シンプル衛生公衆衛生学 小山 洋 他 南江堂 最新臨床検査学講座 関係法規 宮島喜文 他 医歯薬出版株式会社 [資料] 配付資料					